

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2022-180074
 (P2022-180074A)

(43)公開日 令和4年12月6日(2022.12.6)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード(参考)
<i>B 2 9 B 7/72 (2006.01)</i>	B 2 9 B 7/72	4 F 2 0 1
<i>B 2 9 B 9/06 (2006.01)</i>	B 2 9 B 9/06	

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 14 頁)

<p>(21)出願番号 特願2021-86982(P2021-86982)</p> <p>(22)出願日 令和3年5月24日(2021.5.24)</p> <p>(出願人による申告) 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構NEDO先導研究プログラム エネルギー・環境新技術先導研究プログラムプラスチックの高度資源循環を実現するマテリアルリサイクルプロセスの研究開発に係る委託研究、産業技術力強化法第17条の適用を受ける特許出願</p>	<p>(71)出願人 598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号</p> <p>(74)代理人 100197642 弁理士 南瀬 透</p> <p>(74)代理人 100099508 弁理士 加藤 久</p> <p>(74)代理人 100182567 弁理士 遠坂 啓太</p> <p>(74)代理人 100219483 弁理士 宇野 智也</p> <p>(72)発明者 八尾 滋 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内</p> <p style="text-align: right;">最終頁に続く</p>
---	--

(54)【発明の名称】熱可塑性樹脂組成物の成形品の成形機および製造方法

(57)【要約】

【課題】熱可塑性樹脂組成物の成形品の物性を向上させる成形機を提供する。

【解決手段】熱可塑性樹脂組成物を溶融して成形する成形品の成形機10であって、熱可塑性樹脂組成物を供給する供給口1と、供給口1から供給された熱可塑性樹脂組成物を溶融混練する溶融混練部2と、溶融混練部2で溶融混練された熱可塑性樹脂組成物を吐出する吐出部3と、溶融混練部2と吐出部3との間に設けられる樹脂溜り部5を有し、溶融混練部2の温度 t_1 と、樹脂溜り部5の温度 t_2 との温度差 $t(t_2 - t_1)$ が、 $-20 \sim -80$ であることを特徴とする成形機10。

【選択図】図1

